



## 窒素濃度の高い有機質資材を利用したトマト無化学肥料栽培

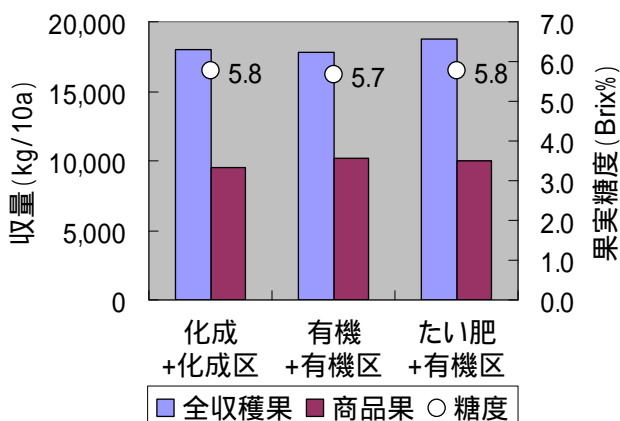
### 【 1 成果の概要】

- (1) 窒素濃度の高い有機質資材やたい肥の特徴を明らかにしました。
- (2) これらの資材を施用することで、トマトの無化学肥料栽培が出来ます（表 1）。
- (3) 収量、生育、内部品質（果実糖度）は化成肥料で栽培した場合と同等です（図 1）。

**表 1 資材の特徴と施肥量の目安**

	基 肥		追 肥
資材の窒素濃度	6%以上(注 1)	6%～3.5%(注 1)	6%程度の有機液肥
窒素施用量	化学肥料と同量	化学肥料の 2 倍量	化学肥料の 2～3 割増
資材の例	市販の有機質肥料	鶏ふんたい肥 豚ふんたい肥	市販の有機液肥
備考	化学肥料と同等の肥効が期待できます。	連用すると土壤中の可給態窒素が高まる傾向があります。	1 回当たりの施用量を増やします。追肥回数は化学肥料と同じとします。

(注 1) 乾物当たりの窒素濃度（現物あたり窒素濃度 ÷ (1-水分%)）



**図 1 栽培試験での収量および果実糖度**

**表 2 栽培試験での施肥量**

試験区	基 肥		追 肥	
	資材	窒素施用量 (kg/10a)	資材	窒素施用量 (kg/10a)
化成 + 化成区	化学肥料 (窒素 15%)	12	化学肥料 (窒素 10%)	16
有機 + 有機区	有機 100% 肥料 (窒素 7%)	12	有機 100% 液肥 (窒素 6%)	20
たい肥 + 有機区	豚ふんたい肥 (窒素 3.8%)	24		

### 【 2 留意事項】

- ・ この栽培を行う場合は、定期的に土壌分析を受けてください。
- ・ 肥沃度の低い圃場では本成果で示した施用量では生育量が不足する可能性があります。土づくりとあわせて栽培を行ってください。
- ・ この技術を利用して、有機 JAS 認証を取得する場合には、使用する資材について、認証団体に確認してください。

### 【 3 適応対象】

- ・ 岩手県内で、トマトの無化学肥料栽培に取り組もうとしている農家